

Funehiki High School News vol.55

特進クラスで学ぶ生徒

01

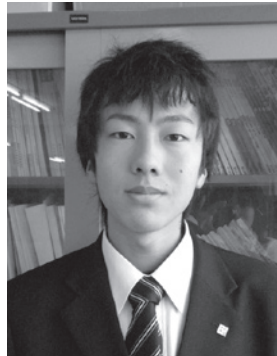
船引高校に入学してから早くも一年が経とうとしています。長いようで短い、充実した一年だったと思います。

私は特進クラスに所属しています。特進クラスは、勉強をしっかり取り組んでいるクラスと聞き入りました。なぜ勉強をしっかりとりたいかという将来は看護系かマルチメディア系の職業につきたいと思っているからです。

そのためには、学力が必要になってくるので、進学し専門知識を身につけるために今はしっかりと勉強に力を入れたいと思っています。

私が大事にしていることは普段の授業に真剣に取り組むことです。

中学の時に苦手だった英



1年特進クラス
戸澤 怜士さん
(常葉中出身)

語が高校に入ってから少しづつ分かるようになってきました。少し苦手だなと思うことも頑張れば結果がついてくるのが分かりました。これからも少しずつ努力を重ね、力をつけていきたいと思っています。

私は現在、卓球部に所属しています。特進クラスでは授業が7校時あり、部活動の時間が必然的に短くなりますが毎日短い時間でも頑張っています。

これからも勉強と部活動を両立し、後悔のない学校生活を送りたいと思います。



事務局より 03

●進路報告会

進路が決定した3年生の代表6人が2月10日、後輩達に体験談を報告しました。

就職、進学各3人ずつが進路決定のために頑張ったことや、後輩達へのアドバイスを熱心に話しました。1・2年生は身近な先輩達の体験談ということもあり、真剣な表情で聞き入っていました。

●デュアル実習成果発表会

市文化センターで2月21日に行われました。発表会のようすは来月号でお知らせします。

来年度4年目を迎えるデュアル実習につきまして今後とも御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

第13回田村地区高等学校 美術部展 02



去る2月9～11日の3日間にわたり、市文化センター展示室において、第13回田村地区高等学校美術部展が開催されました。

本校からは19人の生徒が合わせて37点の作品を出展しました。

他校生とも互いに作品を鑑賞し合いながら協力して展示作業を行いました。

期間中來場していただいた市民の皆さん、本当にありがとうございました。

県民健康管理調査

基本調査の回答（問診票）はお済みでしょうか。

基本調査は、3月11日から7月11日までの間に受けた外部被ばく線量を推計する唯一の方法であり、これから長期にわたって実施していく各種健診、検査の基礎となることから、多くの方々に基本調査「問診票」への回答をお願いしています。

震災時、県内に住民票があった方に問診票を送付していますが、まだ届いていない、書き方がわからないなど、ご不明な点がある場合はお問い合わせください。

すでに問診票を提出していただいたかた

調査へのご協力ありがとうございました。ご回答いただいた問診票をもとに被ばく線量を推定評価し、各個人にお知らせするとともに将来にわたる健康管理のための基礎資料として活用していきます。

まだ問診票を提出されていないかた

この調査目的をご理解いただき、できるだけ当時は思い出し、わかる範囲で記入して提出してください。ご本人はもちろん、ご家族の安心のためにもご協力ください。

問診票がまだ届いていないかた

問診票をあらためて送付します。届いてからおおむね2週間をめやすに提出してください。

調査の目的

この調査は、福島第一原子力発電所事故による県内の放射能汚染をふまえ、長期にわたり県民の健康を守り、将来にわたる健康増進につなげていくことを目的に実施するものです。

基本調査による震災後の行動記録から、皆さんが受けた被ばく線量の推計値を明らかにします。

現在行われている健康診断や、長期にわたる健康管理のための基礎資料となります。

なお、個人の被ばく線量推定結果は個別にお知らせします。

調査のご協力をお願いします

特に、外部被ばく線量の評価については「いつ」「どこに」「どのくらいいたか」「どのように移動したか」など、事故当時の行動記録から推定する以外に方法がありません。

被ばく線量を推定評価することが、将来にわたる健康管理につながるようになります。

なお、本調査への回答はご本人の自由意思によるものですが、調査の趣旨をご理解いただきぜひ、ご協力ください。

問診票に記載された個人情報、健康管理のため県において使用し、個人が特定されるかたちで公開されることはありません。

問い合わせ 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
☎024-549-5130 ※午前9時～午後5時（土・日、祝日を除く）

3月1日～8日は「女性の健康週間」

家庭や職場、地域社会にあっても健康を守るキーパーソンは、女性であるといっても過言ではありません。しかし現代女性を取り巻く環境やライフスタイルの大幅な変化により、女性の病気や悩みも複雑・多様化し、女性が生涯元気でいることが容易ではなくなってきたことも事実です。

この機会に、女性ご本人はもちろん、周囲の方々も女性の心と体の健康について考え、より健康で生き生きとした生活を送りましょう。

女性特有のがん（子宮頸がん・乳がん）は早期発見、治療が可能な病気です。定期的な検診受診をお忘れなく。

問い合わせ 保健福祉部 保健課 ☎81-2271

